

令和6年7月31日

関係者各位

東北大学病院長

張替 秀郎

東北大学病院難病医療連携センター

令和6年度第2回医療従事者等支援難病研修会について（ご案内）

拝啓 晩夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃から東北大学病院難病医療連携センターの活動に対し、ご理解とお力添えをいただき誠にありがとうございます。

さて、この度下記のとおり難病研修会を開催することとなりました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、関係職員の参加につきましてご配慮いただけますと幸いです。

敬具

記

日時： 令和6年9月20日（金） 17:30～19:00

方法： Zoomによるオンライン開催

対象： 難病支援に従事する医療、保健、福祉、介護、両立支援関係者等

内容： ・「在宅レスパイト事業について」

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課難病対策班

・「ALSの進行に伴うADL・IADL課題に対する支援のポイント」

講師 宮城県介護研修センター 作業療法士 大場 薫 氏

理学療法士 廣島 志保氏

申込方法： 別紙案内をご参照ください

申込締切： 令和6年9月10日（火）

以上

東北大学病院 地域医療連携センター
難病医療連携センター
関本・遠藤(久)・遠藤(恵)・早田
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1
TEL : 022-717-7992 / FAX : 022-717-8886
E-mail : nanbyourenkei@grp.tohoku.ac.jp

在宅難病患者支援 進行性疾患に対する福祉用具支援

令和6年
日時 9月20日(金) 17:30~19:00

申込締切
9/10(火)

方法 Zoomによるオンライン研修会

対象 難病支援に従事する医療、保健、福祉、介護、両立支援関係者
医師、看護師、保健師、リハ職、社会福祉士、介護支援専門員
相談支援専門員 他

内容

<事業説明>

「在宅レスパイト事業について」 宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課難病対策班

<講話>

「ALSの進行に伴う ADL・IADL課題に対する支援のポイント」

～講師メッセージ～

ALSの症状に対する支援は、コミュニケーションや呼吸障害に関連するものや、特定のADL障害への対応策の紹介が多く、進行過程に応じた整理はあまりされてきませんでした。

そこで今回はADLが徐々に阻害される上肢型発症直後からの支援過程を取り上げ、進行性疾患に対する伴走型支援のイメージを持っていただくとともに、当センターの活動も知っていただきたいと考えています。

講師 宮城県介護研修センター 作業療法士 大場 薫 氏
理学療法士 廣島 志保 氏

お申し込み

下記①②どちらかの方法でお申し込みください。

①下記のURL または、右記QRコードから「参加申込フォーム」にアクセス

<https://forms.gle/PA3jtV3ibhy67z9V7>

②下記 メールアドレスから

✉ nanbyourenkei@grp.tohoku.ac.jp

件名:「9月20日難病研修会参加申込」 氏名、所属、職種、メールアドレスを記入

